



報道関係各位

2024年3月14日
小岩井乳業株式会社

**小岩井乳業、ママの体調管理に関する最新の意識調査を実施
“免疫力の変化”を最も感じる年齢の境目は平均「36.6歳」に！
免疫ケアにかかるお金は月平均「5,021円」、最大259,000円を費やす人も**

小岩井乳業株式会社(本社:東京都中野区、社長:丹羽 大二)は子どもがいる 20~59 歳の女性 1,000 名を対象に、「体調管理に関する意識調査」を実施したことをお知らせします。

【調査サマリー】

1. ママの 6 割以上(65.3%)が年齢に応じて免疫力が維持できなくなっていると感じ、「免疫力の変化」を最も感じる年齢の境目は平均「36.6 歳」に！
2. 全体の約 9 割(89.7%)もの方が免疫力を維持することが重要と回答。一方で免疫ケアを日常的に行っている人は約 2 割(20.2%)と少ない結果に
3. 家庭で実際に行っている免疫ケア 1 位は「毎日 3 食の食事」、2 位に「食事の栄養/バランスを意識」と口にしているものへの意識が高い結果に
4. 免疫ケアにかかるお金は月平均「5,021 円」。最もお金をかけている人は月 259,000 円という結果に

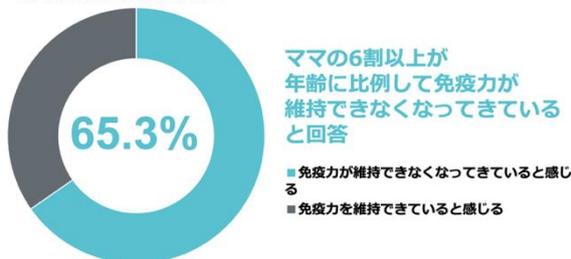
【調査結果】

1. ママの 6 割以上(65.3%)が年齢に応じて免疫力が維持できなくなっていると感じ、「免疫力の変化」を最も感じる年齢の境目は平均「36.6 歳」に！

20~59 歳のママに対して、現在の年齢よりも若いときに比べて自身の免疫力が維持できなくなっていると感じることがあるか聞くと、全体の 65.3%が維持できなくなっていると感じました。また、免疫力の変化(免疫力が維持できなくなっている感覚)を最も感じた境目となる年齢を聞くと、平均 36.6 歳という結果となりました。

全体の 6 割以上のママが年齢に応じて自身の免疫力が維持できなくなっていると感じており、その変化を最も感じる年齢が 36~37 歳であることがわかりました。

Q.現在の年齢よりも若いときに比べ、自身の免疫力が維持できなくなっていると感じることがありますか？



【単一回答、n=1,000】

Q.免疫力の変化(免疫力が維持できなくなっている感覚)を最も感じた境目となる年齢を教えてください。



【自由回答、n=503】

— 報道関係各位からのお問い合わせ先 —

<商品に関するお問い合わせ先>
マーケティング部 広報担当 : 齊藤
TEL: 080-5181-9812 FAX: 03-3228-7266

<本リリースに関するお問い合わせ先>
小岩井乳業 PR 事務局(株)スキュー内)担当: 西尾・飯島
TEL: 03-6438-9808 Mail: koiwai_pr@skewinc.co.jp

— お客様からのお問い合わせ先 —
お客様相談室 フリーダイヤル: 0120-171766



小岩井

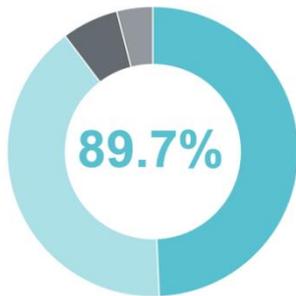
2. 全体の約 9 割(89.7%)もの人が免疫力を維持することが重要と回答。一方で免疫ケアを日常的に行っている人は約 2 割(20.2%)と少ない結果に

20～59 歳のママに対して、免疫力を維持すること(免疫ケア)は自身にとって重要だと感じるか聞くと、全体の約 9 割にのぼる 89.7%もの人が重要だと感じると回答しました。また同時に、現在、自身の免疫力を維持するための行動(免疫ケア)をしているか聞くと、「日常的にしている」と回答した人は 20.2%にとどまる結果に。全体の 4 割以上(43.9%)は「あまりしていない(27.6%)」、「していない(16.3%)」ことがわかりました。

ママのほとんどが、「免疫ケア」の重要性を実感している一方で、実際に免疫ケアを行動に移せていない実態が浮き彫りになりました。

Q.免疫力を維持すること(免疫ケア)は自身にとって重要だと感じますか？

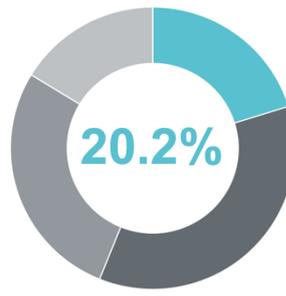
Q.現在、自身の免疫力を維持するための行動(免疫ケア)をしていますか？



ママの約9割が免疫力を維持することが重要と回答と回答

- とても重要だと感じる
- どちらかと言えば重要だと感じる
- あまり重要だと感じない
- 全く重要だと感じない

【単一回答、n=1,000】



免疫ケアを日常的に行っているママは約2割にとどまる結果に

- 日常的にしている
- 気づいたときにしている
- あまりしていない
- していない

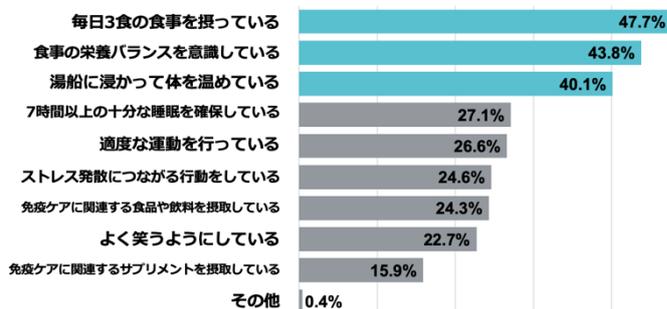
【単一回答、n=1,000】

3. 家庭で実際に行っている免疫ケア 1 位は「毎日 3 食の食事」、2 位に「食事の栄養バランスを意識」と口にしているものへの意識が高い結果に

免疫ケアにつながる行動をとったことがあるママに対して、実際に行ったことがある「免疫ケア」を聞くと、1 位が「毎日 3 食の食事を摂っている(47.7%)」、2 位に「食事の栄養バランスを意識している(43.8%)」がランクインするなど、日常的に口にしているものへの意識が高いことがわかりました。また、3 位に「湯船に浸かって体を温めている(40.1%)」、4 位には「7 時間以上の十分な睡眠を確保している(27.1%)」が入り、“食事”に次いで“睡眠”に対する意識もうかがえます。

食事の意識が高いことがわかった一方で、「免疫ケアに関連する食品や飲料を摂取している(24.3%)」や「免疫ケアに関連するサプリメントを摂取している(15.9%)」など、「免疫ケア」につながる食品やサプリメントの利用は少ない水準にとどまる結果となりました。

Q.実際に行ったことがある「免疫ケア」として当てはまるものをすべてお答えください。



【複数回答、n=837】

— 報道関係各位からのお問い合わせ先 —

＜商品に関するお問い合わせ先＞
マーケティング部 広報担当：齊藤
TEL: 080-5181-9812 FAX: 03-3228-7266

＜本リリースに関するお問い合わせ先＞
小岩井乳業 PR 事務局(株)スキュー内)担当:西尾・飯島
TEL:03-6438-9808 Mail:koiwai_pr@skewinc.co.jp

— お客様からのお問い合わせ先 —

お客様相談室 フリーダイヤル:0120-171766



4. 免疫ケアにかかるお金は月平均「5,021 円」。最もお金をかけている人は月 259,000 円という結果に
免疫ケアを「日常的にしている」、「気づいたときにしている」と回答したママに対して、免疫力を維持するための「免疫ケア」にかけているお金は月いくら程度か聞くと、平均 5,021 円という結果になりました。また、最大で月 259,000 円を免疫ケアに費やしている人もいるなど、ママ全体の 4 割以上が免疫ケアにあまりまたは全く取り組んでいないなか、個人間の意識の差が明確に分かれる結果となりました。

Q.免疫力を維持するための「免疫ケア」にかけているお金は平均月いくらですか？

月平均 **5,021円**

【自由回答、n=331】

【調査概要】

調査期間：2024 年 3 月 1 日～3 月 5 日

調査テーマ：ママの体調管理に関する意識調査

調査対象者：子どもがいる 20～59 歳の女性 1,000 名

調査方法：インターネット調査

※データを引用・使用される際は、「小岩井乳業株式会社」を出典元として明記くださいますよう、お願いいたします。

■免疫維持のために、規則正しい生活習慣と小岩井乳業の新品「小岩井 免疫ケアヨーグルト」も！
小岩井乳業から、免疫力の変化を感じていながら日常的に免疫ケアが行えていない多くのママにぴったりの「小岩井 免疫ケアヨーグルト」シリーズ全 9 種が新発売されました。



甘さすっきり

低脂肪

砂糖不使用

のむ

甘さすっきり※

のむ※

【商品】

「小岩井 免疫ケアヨーグルト甘さすっきり」 100g 400g

「小岩井 免疫ケアヨーグルト低脂肪」 100g 400g

「小岩井 免疫ケアヨーグルト砂糖不使用」 100g 400g

「小岩井 免疫ケアのむヨーグルト」 115g

「小岩井 免疫ケアヨーグルトプラズマ乳酸菌甘さすっきり」 100g 宅配専用 ※

「小岩井 免疫ケアのむヨーグルトプラズマ乳酸菌」 115g 宅配専用 ※

— 報道関係各位からのお問い合わせ先 —

<商品に関するお問い合わせ先>
マーケティング部 広報担当：齊藤
TEL: 080-5181-9812 FAX: 03-3228-7266

<本リリースに関するお問い合わせ先>
小岩井乳業 PR 事務局(株スキュー内)担当:西尾・飯島
TEL:03-6438-9808 Mail:koiwai_pr@skewinc.co.jp

— お客様からのお問い合わせ先 —

お客様相談室 フリーダイヤル:0120-171766



【商品特長】

- 1) 免疫機能の維持に役立つプラズマ乳酸菌 (*L. lactis* strain Plasma) 1,000 億個 (食べるタイプは 100g 当たり) が手軽に摂取できるヨーグルト
- 2) お客様のライフスタイルや気分に合わせて「甘さすっきり」、「低脂肪」、「砂糖不使用」、「のむタイプ」の毎日続けやすいバリエーション
- 3) 大型タイプもあり、ママだけでなく、家族みんなの免疫ケアに寄り添うヨーグルトシリーズに

【機能性表示食品】

・届出表示:

本品には、プラズマ乳酸菌 (*L. lactis* strain Plasma) が含まれます。プラズマ乳酸菌は pDC (プラズマサイトイド樹状細胞) に働きかけ、健康な人の免疫機能の維持に役立つことが報告されています。

・食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。

・本品は国の許可を受けたものではありません。

・本品は、疾病の診断、治療、予防を目的としたものではありません。

プラズマ乳酸菌は、キリン、小岩井乳業、協和発酵バイオが共同研究を行っている乳酸菌です。

■今なら、無料体験イベントも実施中！「おいしい免疫ケア習慣を始めよう 新・小岩井 免疫ケアヨーグルト体験会」について

小岩井乳業は、免疫ケアの第一歩を応援する体験イベントを全国 5 都市で開催しています。

イベント名: 「おいしい免疫ケア習慣を始めよう 新・小岩井 免疫ケアヨーグルト体験会」

概要: 3/5 に新発売された「免疫ケアヨーグルト」を無料体験いただけるイベント

実施日時および会場:

- ① 3/9 (土) イオンモール名取/けやきコート【宮城県】
- ② 3/16 (土) イオンモール盛岡南/センターコート【岩手県】
- ③ 3/20 (水・祝日) イオンモール幕張新都心/グランドコート【千葉県】
- ④ 3/30 (土) イオンモール Nagoya Noritake Garden/センターコート【愛知県】
- ⑤ 4/13 (土) イオンモール京都桂川/竹の広場【京都府】

今後も、私たち小岩井乳業株式会社は、大地の恵みを大切に、お客様の「おいしい」「うれしい」の期待にこたえ続け、お客様のことを一番考える会社をめざし、お客様の笑顔につながる商品をご提案してまいります。

— 報道関係各位からのお問い合わせ先 —

<商品に関するお問い合わせ先>
マーケティング部 広報担当 : 齊藤
TEL: 080-5181-9812 FAX: 03-3228-7266

<本リリースに関するお問い合わせ先>
小岩井乳業 PR 事務局 (株) スキュー内) 担当: 西尾・飯島
TEL: 03-6438-9808 Mail: koiwai_pr@skewinc.co.jp

— お客様からのお問い合わせ先 —

お客様相談室 フリーダイヤル: 0120-171766



<参考資料>

■キリンの独自素材「プラズマ乳酸菌」について

「プラズマ乳酸菌」は、健康な人の免疫機能の維持をサポートする乳酸菌です。免疫細胞「プラズマサイトイド樹状細胞(pDC)」にちなんで名付けられ、キリンホールディングス株式会社、小岩井乳業株式会社、協和発酵バイオ株式会社および国内外の大学・研究機関と共同でこれまで多くの論文・学会発表を行っています。

■プラズマ乳酸菌が健康な人の免疫機能の維持をサポートするメカニズム

・世界初！※1プラズマサイトイド樹状細胞(pDC)に直接働きかける乳酸菌

「プラズマ乳酸菌」は、「免疫の司令塔」である「プラズマサイトイド樹状細胞(pDC)」を直接活性化します。

活性化された司令塔の指示・命令により、免疫細胞全体が活性化され、外敵に対する防御システムが機能します。

※1 ヒトpDCに働きかけることが世界で初めて論文報告された乳酸菌 (PubMed及び医中誌Webの掲載情報に基づく)

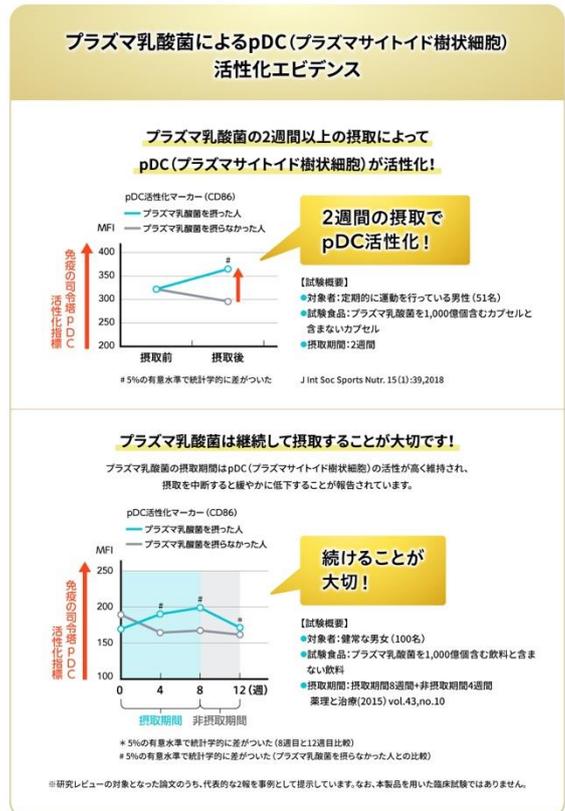


・「プラズマ乳酸菌」の2週間以上の摂取によってプラズマサイトイド樹状細胞(pDC)が活性化

「プラズマ乳酸菌」の2週間以上の摂取によってpDC(プラズマサイトイド樹状細胞)が活性化します。また「プラズマ乳酸菌」の摂取期間はpDC(プラズマサイトイド樹状細胞)の活性が高く維持され、摂取を中断すると緩やかに低下することが報告されています。「プラズマ乳酸菌」は継続して摂取することが大切です。

研究レビューの対象となった論文のうち、代表的な2報を事例として提示しています。

なお、本製品を用いた臨床試験ではありません。



— 報道関係各位からのお問い合わせ先 —

<商品に関するお問い合わせ先>
マーケティング部 広報担当 : 齊藤
TEL: 080-5181-9812 FAX: 03-3228-7266

<本リリースに関するお問い合わせ先>
小岩井乳業 PR 事務局(株スキュー内)担当: 西尾・飯島
TEL: 03-6438-9808 Mail: koiwai_pr@skewinc.co.jp

— お客様からのお問い合わせ先 —
お客様相談室 フリーダイヤル: 0120-171766